

内分泌・代謝疾患

内分泌・代謝疾患とは？

- 内分泌疾患とは、脳（下垂体）や甲状腺、副腎などのホルモンを産生する臓器や、そのホルモンの作用の異常で発症する疾患をいいます
- 代謝性疾患には糖尿病を含め、高コレステロール血症や高尿酸血症などの頻度の高い疾患や、先天性の酵素欠乏などで代謝異常をきたす稀な疾患もあります

甲状腺のおもな病気

ホルモン値が低下
(甲状腺機能低下)

橋本病

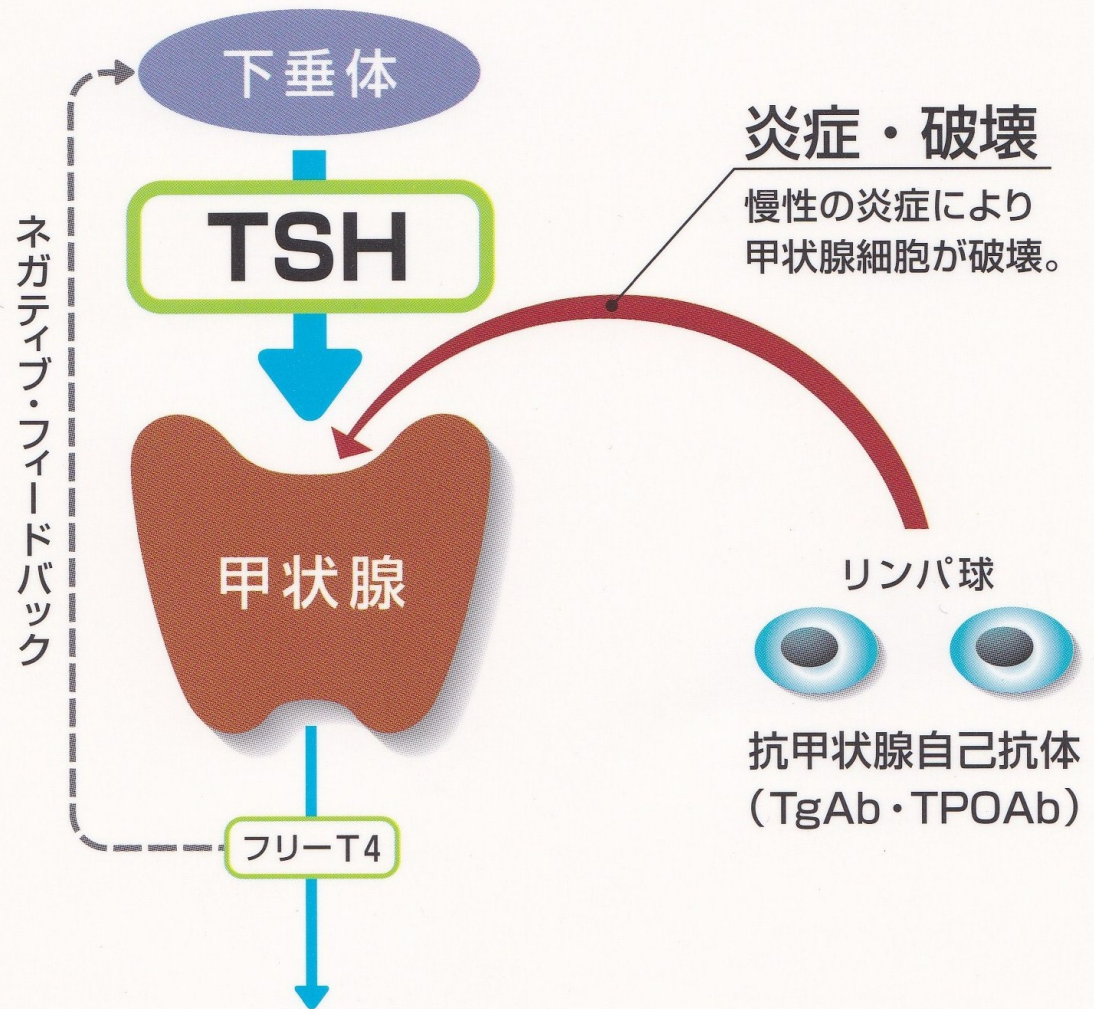
ホルモン値が高い
(甲状腺中毒症)

バセドウ病

無痛性甲状腺炎 亜急性甲状腺炎

(この2つの病気の場合は、前半に
ホルモン値が高く、後半にホルモン値が低くなる)

【橋本病による甲状腺機能低下症】



骨粗しょう症（骨がもろくなる病気）の原因

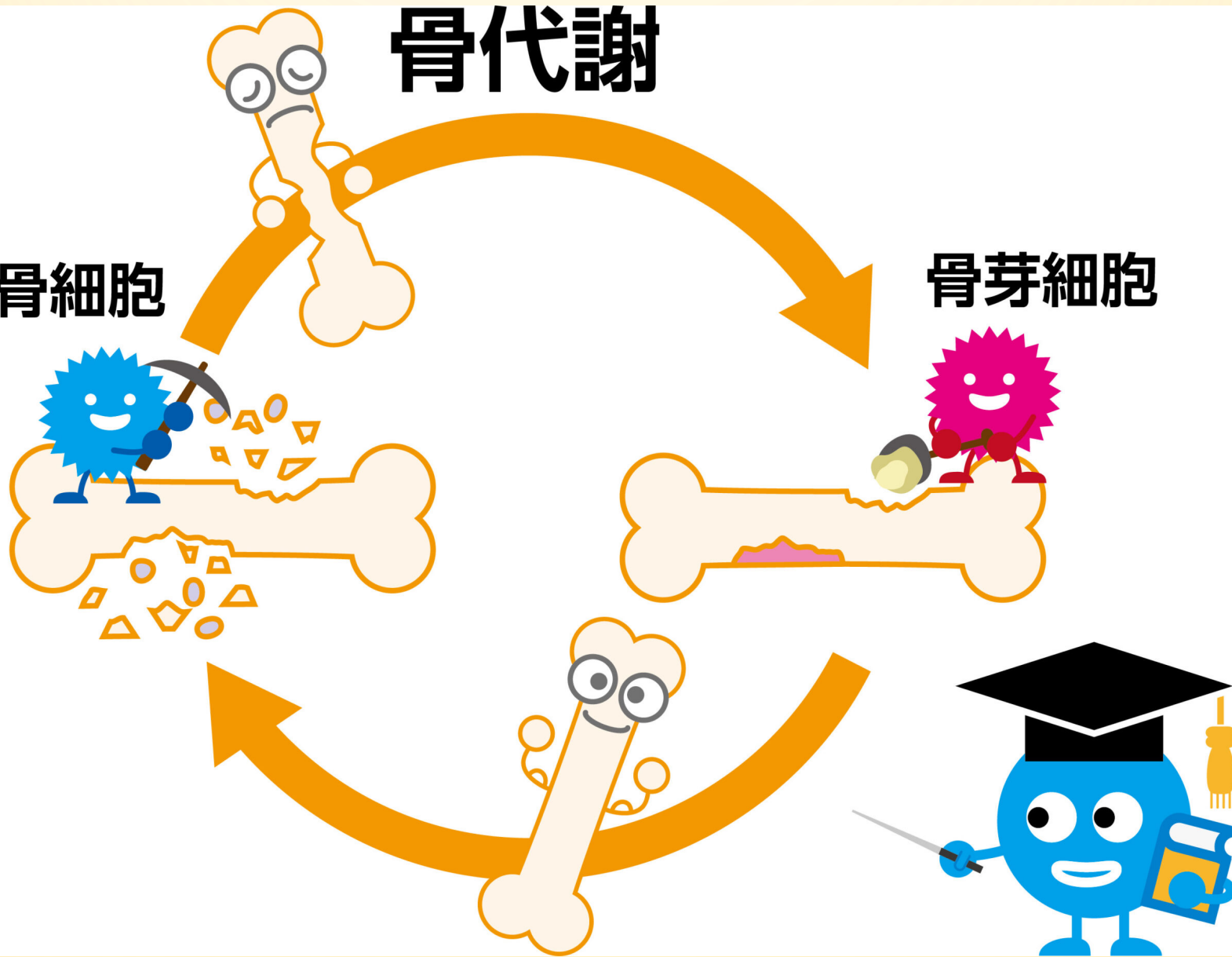
- 加齢
- 閉経（女性ホルモンの低下）
- 運動不足
- 副甲状腺機能亢進症
- 薬剤性

（詳しくは骨粗しょう症のミニ知識をご覧ください）

骨代謝

破骨細胞

骨芽細胞



クッシング症候群ってなんぞや？

副腎皮質ホルモンが過剰に分泌されちゃう病気！

●好発

→40～50歳代の女性

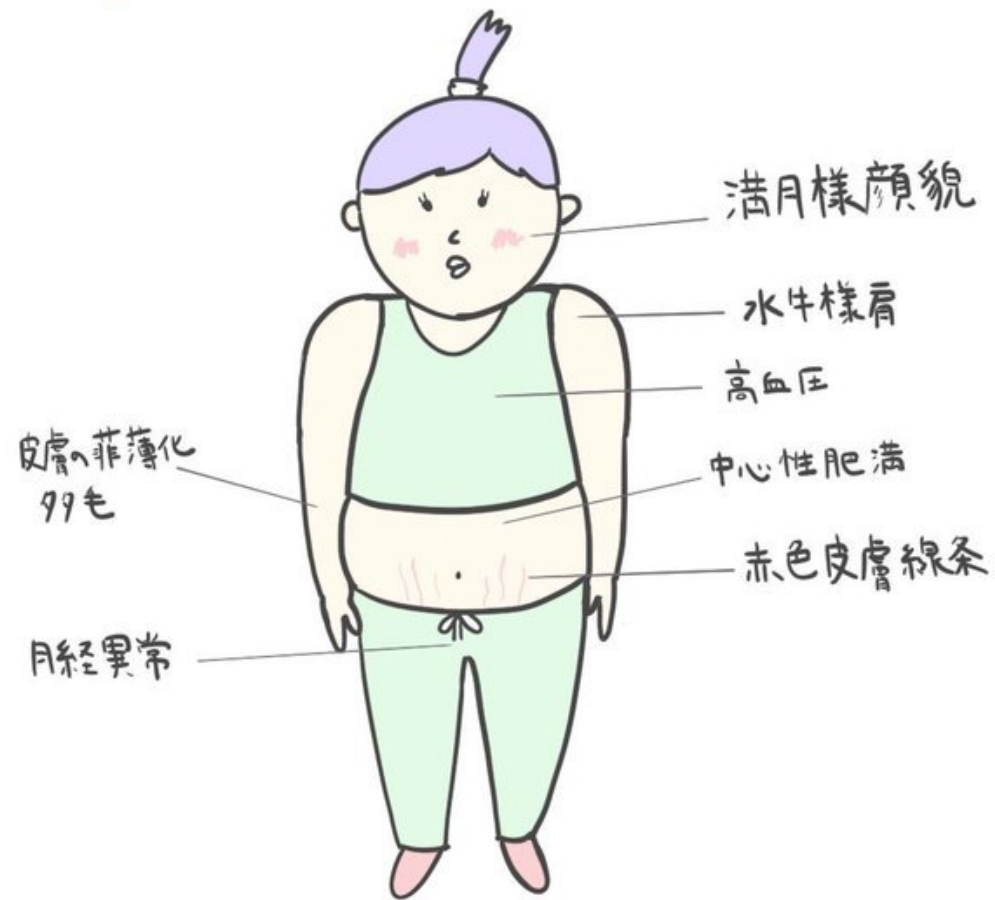
●症状

→満月様顔貌、中心性肥満、水牛様肩、赤色皮膚線条、皮膚菲薄化、高血圧、骨粗しょう症、糖尿病、月経異常

副腎皮質ホルモンの1つであるコルチゾールはストレスで分泌が増加することから、ストレスホルモンと呼ばれる

→ストレスによって症状が変化する

フッティング症候群



内分泌・代謝疾患

- 頻度の高いものから稀な病気まで、多くの疾患があります
- 気になる症状があるときは、気軽にご相談下さい